

重度障害者・生涯学習ネットワーク（所在地：神奈川県）

『重度医療的ケア者対象の訪問型生涯学習支援』に向けた実践研究

主な連携先

神奈川県教育委員会、特別支援学校校長会、
大学（田園調布学園大学、鎌倉女子大学）等

主な対象

重症心身障害者・医療的ケア者

事業の趣旨・目的

重症心身障害者・医療的ケア者対象の訪問型生涯学習支援「訪問カレッジ」を持続可能な制度にすることを目的に、「①訪問型生涯学習支援プログラム開発 ②人材育成 ③運営・地域連携 ④理解啓発」の4つの項目で実践研究を行った。

事業実施体制

- ・重度障害者・生涯学習ネットワーク：訪問型生涯学習支援に取り組む12団体（大学、NPO、一般社団法人等）で組織。
- ・連携協議会：神奈川県内の教育（教育委員会、特別支援学校、大学）、福祉、学生保護者、先行自治体（東京都日野市、新宿区）

学習プログラムの内容

1. 訪問型学習のプログラム

- ①学習の機会 週1回～月1回 1回2時間程度
- ②学習支援員は1名～2名 ③原則一対一個別対応
- ④プログラム展開 ⑤親御さんの授業参加。
- ⑥入所施設の場合は、施設側の了解と理解が必要)

2. 訪問型学習のプログラムの類型化の試み

- 【自然科学分野】 【人文科学分野】 【社会科学分野】
- 【家政学分野】 【文化・芸術】 【リハビリテーション分野】
- 【保健体育】 【校外学習】

今年度の取組状況

- ①訪問型生涯学習支援プログラム開発：各会員団体による「訪問カレッジ」の実践の蓄積をもとに、学習プログラムを分析・類型化して効果的な学習プログラムの提供の在り方をまとめた。
- ②人材育成：学習支援員の拡大に向けた大学生や市民に対する講座開設等、ネットワーク会員団体の取り組みを収集・分析した。
- ③運営・地域連携：財政的な課題と解決策に向けた自治体との連携の在り方を検討し、他の自治体に参考になる「かながわモデル」をまとめた。
- ④理解啓発：訪問型生涯学習支援に関する理解啓発を目的にフォーラム等を開催。参加者のアンケート調査では高い評価を得た。

その他研究の詳細など

- ①訪問カレッジ「学びの美り アート&ミュージックミュージアム ～医療的ケアの必要な重度障がい者の学びの成果を発表する文化祭～」
開催日：令和4年11月25（金）～27日（日） ネットワーク紹介 会全体の様子 フォーラムの様子
場所：パシフィコ横浜
記録ビデオの作成とYouTubeへの公開
- ②事業報告書



学習の様子（眼鏡型アイトラッカー、大学生との交流） 連携協議会

